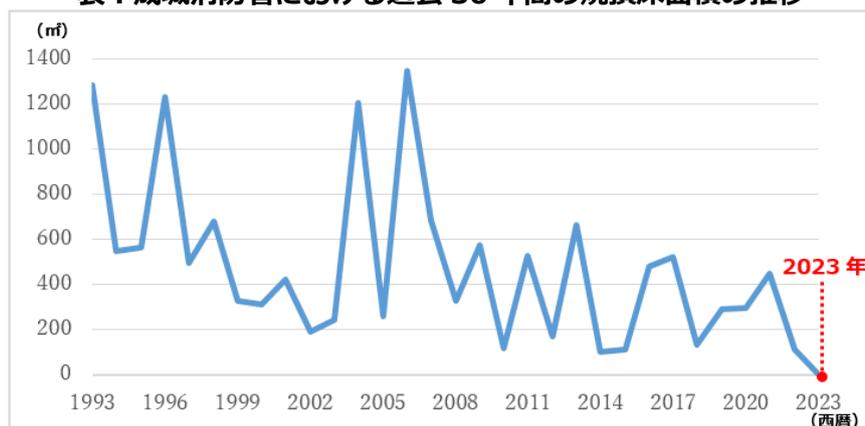


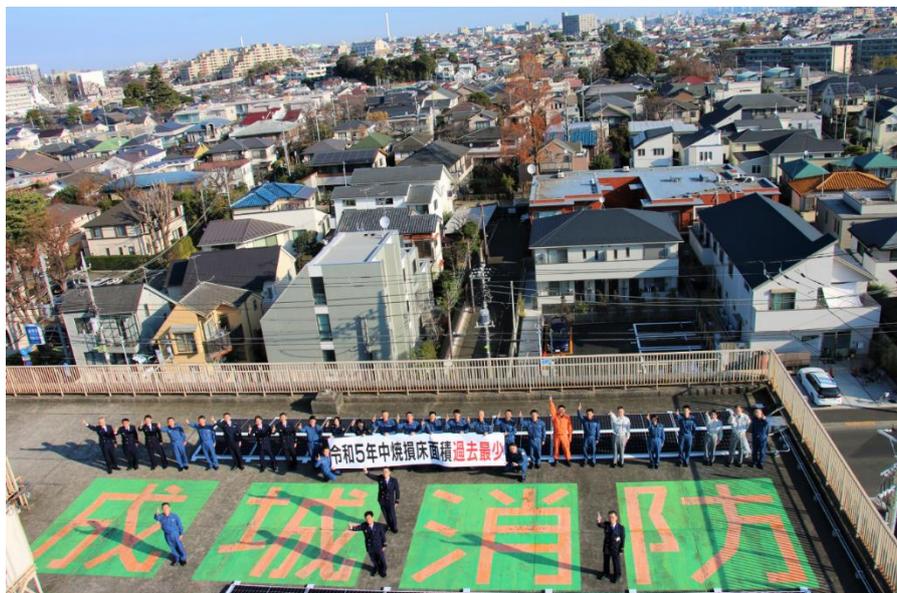
【成城消防署管内の焼損床面積が過去最少を記録】

令和5年1月1日から12月31日までの1年間において、成城消防署管内の火災による延焼床面積が1㎡にとどまり、昭和30年11月1日の消防署開署以来過去最少を記録しました。

表：成城消防署における過去30年間の焼損床面積の推移



火災による延焼床面積が過去最少となった要因として、関東大震災100年を契機とした地域住民の皆さま一人一人の防火防災意識の向上や火災発生時の速やかな119番通報、初期消火等が挙げられます。



写真：成城消防署裏庭ではしご車より撮影

令和6年も成城消防署署員一同、皆さまのご協力をいただきながら、地域の安全安心のために精進してまいります。